

1 生乳生産量と用途別処理量

(1) 生乳生産量

－ 生乳生産量は2.1%増加 －

生乳生産量は763万418tで、前年に比べ15万6,109t（2.1%）増加した。

これは、22年の猛暑や23年の東日本大震災の影響等により減少したが、本年は生産者による増産の取組が進んだこと等による。

図1 生乳生産量の推移（全国）

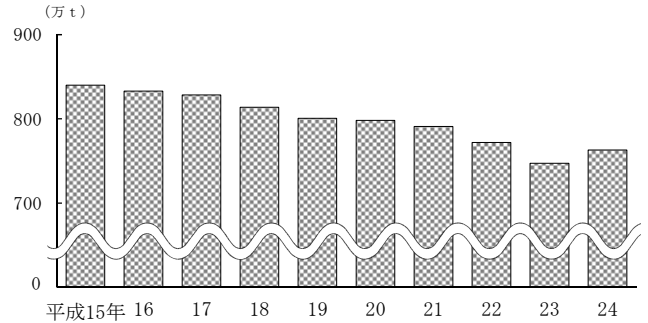


表1 生乳生産量

年次	生乳生産量			対前年比		
	全国計	北海道	都府県	全国計	北海道	都府県
	t	t	t	%	%	%
平成23年	7,474,309	3,876,030	3,598,279	96.8	99.3	94.2
24	7,630,418	3,935,224	3,695,194	102.1	101.5	102.7

(2) 全国農業地域別生乳生産量

－ 北海道の生乳生産量シェアは51.6% －

全国農業地域別の生乳生産量をみると、北海道が393万5,224t（全国に占める割合51.6%）で最も多く、次いで関東が109万2,061t（同14.3%）、九州が67万7,061t（同8.9%）の順となっている。

図2 生乳生産量シェア（全国農業地域別）

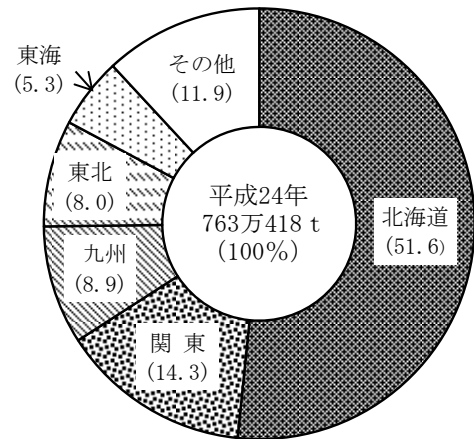


表2 生乳生産量（全国農業地域別）

年次	単位：t										
	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成23年	3,876,030	573,769	102,499	1,063,625	133,428	399,017	202,875	301,463	138,151	656,092	27,360
24	3,935,224	613,626	102,534	1,092,061	131,292	404,841	201,970	307,129	136,631	677,061	28,049
対前年比(%)	101.5	106.9	100.0	102.7	98.4	101.5	99.6	101.9	98.9	103.2	102.5

(3) 用途別処理量

－ 牛乳等向け処理量は0.3%減少 －

生乳の用途別処理量をみると、牛乳等向け処理量は404万3,870 tで、前年に比べ1万4,192 t (0.3%) 減少し、乳製品向け処理量は352万7,910 tで、前年に比べ17万7,001 t (5.3%) 増加した。

図3 牛乳等向け処理量及び乳製品向け処理量の推移（全国）

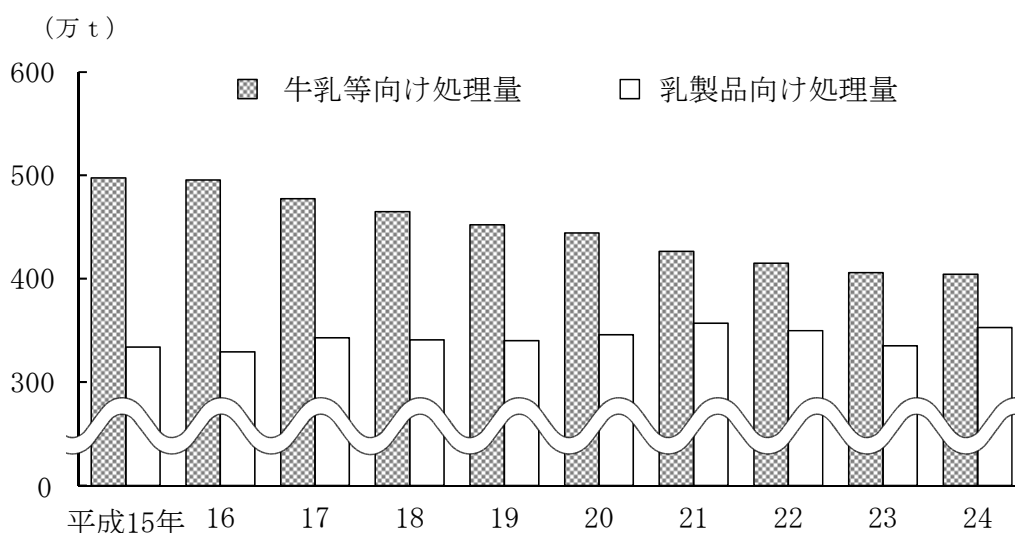


表3 生乳用途別処理量（全国）

年次	生乳生産量	用途別処理量				
		牛乳等向け	業務用向け	乳製品向け	その他向け	欠減
24	7,630,418	4,043,870	313,883	3,527,910	58,638	12,443
対前年比 (%)	102.1	99.7	105.3	105.3	89.7	95.6

単位：t

2 牛乳等生産量

(1) 飲用牛乳等生産量

— 牛乳生産量は0.1%増加 —

飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳生産量は306万8,253k1で、前年に比べ4,056k1(0.1%)増加し、加工乳・成分調整牛乳生産量は51万7,623k1で、前年に比べ7万1,275k1(12.1%)減少した。

図4 牛乳及び加工乳・成分調整牛乳生産量の推移(全国)

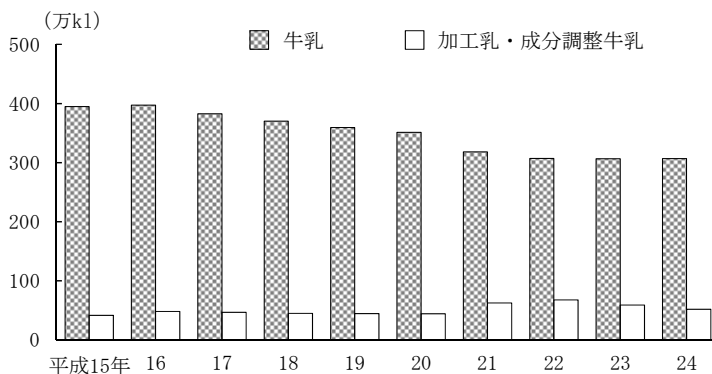


表4 飲用牛乳等生産量(全国)

単位：k1

年次	飲用牛乳等					
	計	牛乳	業務用	加工乳・成分調整牛乳	業務用	成分調整牛乳
平成23年	3,653,095	3,064,197	281,733	588,898	31,153	386,827
24	3,585,876	3,068,253	294,079	517,623	34,036	367,468
対前年比(%)	98.2	100.1	104.4	87.9	109.3	95.0

(2) 全国農業地域別飲用牛乳等生産量

— 関東の飲用牛乳等生産量シェアは29.7% —

全国農業地域別の飲用牛乳等生産量をみると、関東が106万4,686k1(全国に占める割合29.7%)で最も多く、次いで北海道が51万8,959k1(同14.5%)、近畿が42万8,908k1(同12.0%)の順となっている。

図5 飲用牛乳等生産量シェア(全国農業地域別)

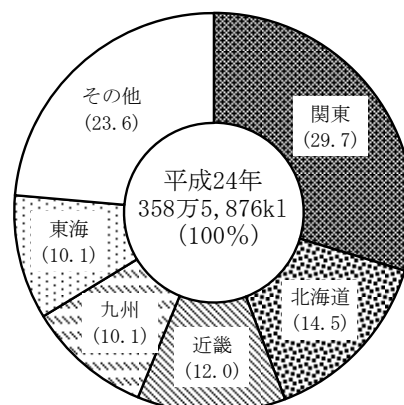


表5 飲用牛乳等生産量(全国農業地域別)

単位：k1

年次	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成23年	504,755	240,869	106,874	1,093,196	119,845	374,110	447,865	284,333	84,448	365,985	30,815
24	518,959	254,499	102,059	1,064,686	117,487	362,307	428,908	264,851	78,845	363,085	30,190
対前年比(%)	102.8	105.7	95.5	97.4	98.0	96.8	95.8	93.1	93.4	99.2	98.0

(3) 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量

－ 乳飲料生産量は4.1%増加 －

乳飲料の生産量は133万1,279k1、はっ酵乳の生産量は98万3,566k1で、前年に比べそれぞれ5万2,779k1（4.1%）、14万746k1（16.7%）増加し、乳酸菌飲料の生産量は16万3,477k1で、前年に比べ1万4,880k1（8.3%）減少した。

図6 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量の推移（全国）

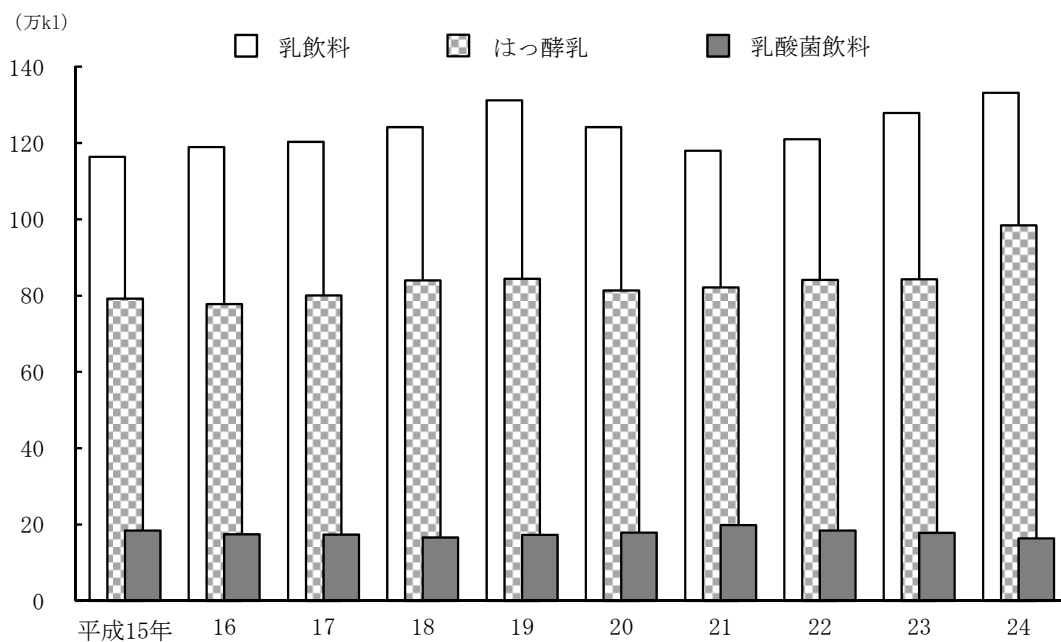


表6 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量（全国）

単位：k1			
年次	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
平成23年	1,278,500	842,820	178,357
24	1,331,279	983,566	163,477
対前年比 (%)	104.1	116.7	91.7

3 乳製品生産量

－ 脱脂粉乳、チーズ、クリーム及びバターはそれぞれ増加 －

主な乳製品の生産量をみると、脱脂粉乳は13万8,598 t、チーズは14万979 t、クリームは11万2,995 t、バターは6万8,984 tで、前年に比べそれぞれ1,457 t (1.1%)、4,730 t (3.5%)、1,314 t (1.2%)、6,139 t (9.8%) 増加した。

図7 主要乳製品の生産量の推移（全国）

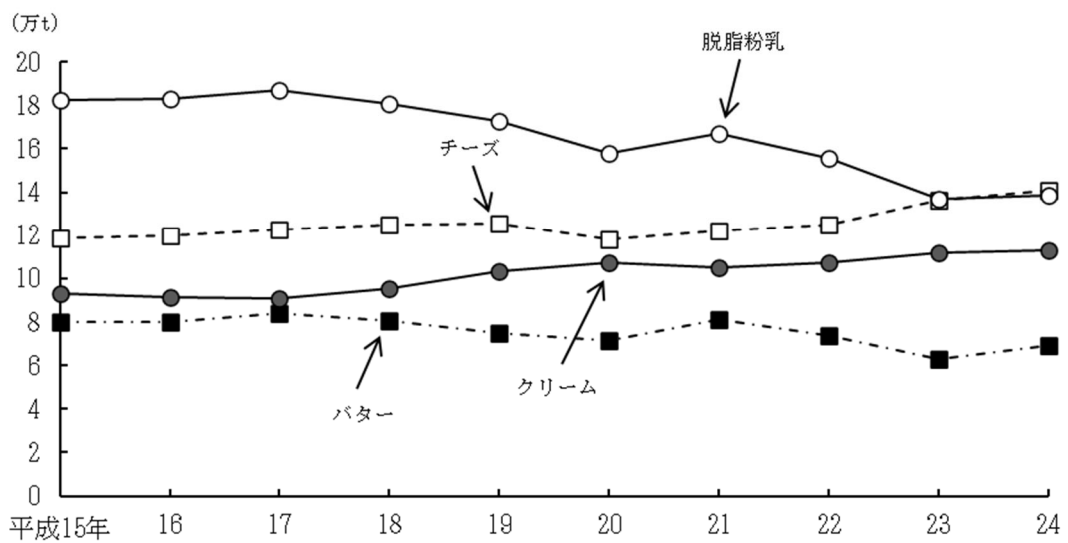


表7 乳製品生産量（全国）

年次	全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳	バター	クリーム
	t	t	t	t	t
平成23年	14,302	137,141	27,559	62,845	111,681
24	12,451	138,598	23,914	68,984	112,995
対前年比 (%)	87.1	101.1	86.8	109.8	101.2

年次	チーズ	ナチュラルチーズ		加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	アイス クリーム
		直接消費用	ナチュラルチーズ				
	t	t	t	t	t	t	kl
平成23年	136,249	25,342	36,463	820	4,791	137,072	
24	140,979	27,120	37,800	723	4,836	138,046	
対前年比 (%)	103.5	107.0	103.7	88.1	100.9	100.7	

注： アイスcream以外の乳製品の対前年比については、実数 (kg 単位) により算出しているため、表中の数値による算出結果と異なる場合がある。

4 牛乳処理場及び乳製品工場数

(1) 処理場・工場数

一 牛乳を処理した工場数は564工場

平成24年12月31日現在の牛乳処理場・乳製品工場数は619工場であった。

そのうち生乳を処理した工場数は564工場であり、2t未満の牛乳処理場・乳製品工場が304工場、40t以上が118工場となっている。

図8 牛乳乳製品の製造・処理別牛乳処理場・乳製品工場数の推移（全国）（12月31日現在）

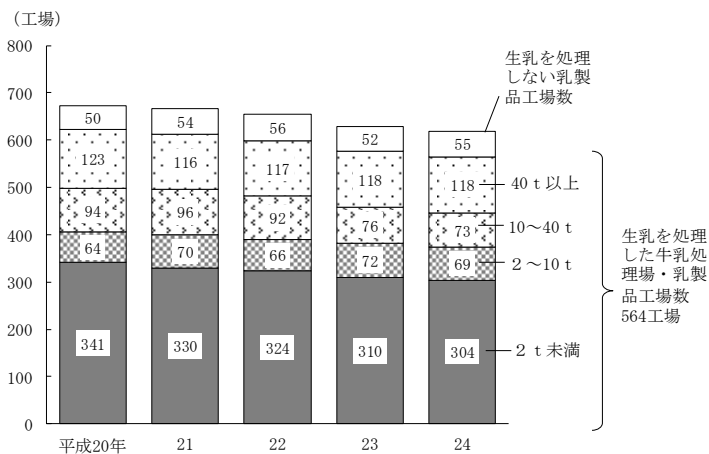


表8 牛乳処理場・乳製品工場数（全国）

年次	計	経営組織			12月の生乳処理量規模（1日当たり）							生乳を処理しない乳製品工場
		会社	農業協同組合	個人・その他	2t未満	2~4	4~10	10~20	20~40	40t以上		
平成23年	628	462	44	122	310	34	38	30	46	118	52	
24	619	456	43	120	304	37	32	30	43	118	55	
対前年差	△9	△6	△1	△2	△6	3	△6	0	△3	0	3	

(2) 全国農業地域別処理場・工場数

一 関東の処理場・工場シェアは20.2%

全国農業地域別の処理場・工場数をみると、関東が125工場（全国に占める割合20.2%）で最も多く、次いで北海道が107工場（同17.3%）、東北が69工場（同11.1%）の順となっている。

図9 処理場・工場シェア（全国農業地域別）

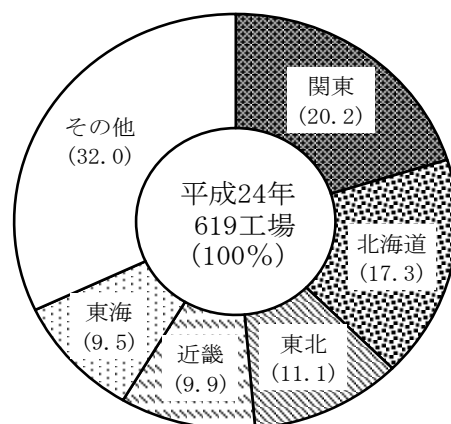


表9 処理場・工場数（全国農業地域別）

年次	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成23年	110	70	50	124	33	62	61	44	10	53	11
24	107	69	48	125	32	59	61	44	10	54	10
対前年差	△3	△1	△2	1	△1	△3	0	0	0	1	△1

(3) 製造品目別処理場・工場数

ー 牛乳を製造した工場は 438 工場 ー

平成 24 年 1 月から 12 月に飲用牛乳等及び乳飲料を製造した牛乳処理場・乳製品工場数は 439 工場であり、うち牛乳を製造した工場数は 438 工場、乳飲料を製造した工場数は 257 工場である。

また、乳製品を製造した工場数は 296 工場であり、うち乳脂肪分 8% 以上のアイスクリームを製造した工場数は 134 工場、チーズを製造した工場数は 134 工場となっている。

表10 飲用牛乳等及び乳飲料を製造した工場数（全国）（12月31日現在）

単位：工場

年次	飲用牛乳等							乳飲料
	計	牛乳	業務用	学校給食用	加工乳・ 成分調整牛乳	業務用	成分調整牛乳	
平成23年	447	446	169	229	153	13	68	268
24	439	438	163	225	138	12	64	257
対前年差	△ 8	△ 8	△ 6	△ 4	△ 15	△ 1	△ 4	△ 11

注：内訳は各製品を製造した工場数であり、内訳と合計は一致しない。

表11 乳製品を製造した工場数（全国）（12月31日現在）

単位：工場

年次	乳製品											
	計	粉乳			バター	クリーム	チーズ	れん乳				乳脂肪分8% 以上のアイス クリーム
		全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳				直接消費用 ナチュラル チーズ	加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖 れん乳	
平成23年	296	14	32	5	70	81	132	116	25	7	12	135
24	296	13	30	5	67	78	134	117	24	5	11	134
対前年差	0	△ 1	△ 2	0	△ 3	△ 3	2	1	△ 1	△ 2	△ 1	△ 1

注：内訳は各製品を製造した工場数であり、内訳と合計は一致しない。

<参考>

－ 乳用牛の飼養動向 －

畜産統計調査（各年2月1日現在）

平成25年2月1日現在の乳用牛の飼養頭数は142万3千頭で、前年に比べ2万6千頭(1.8%)減少した。

図10 乳用牛の飼育戸数・頭数の推移

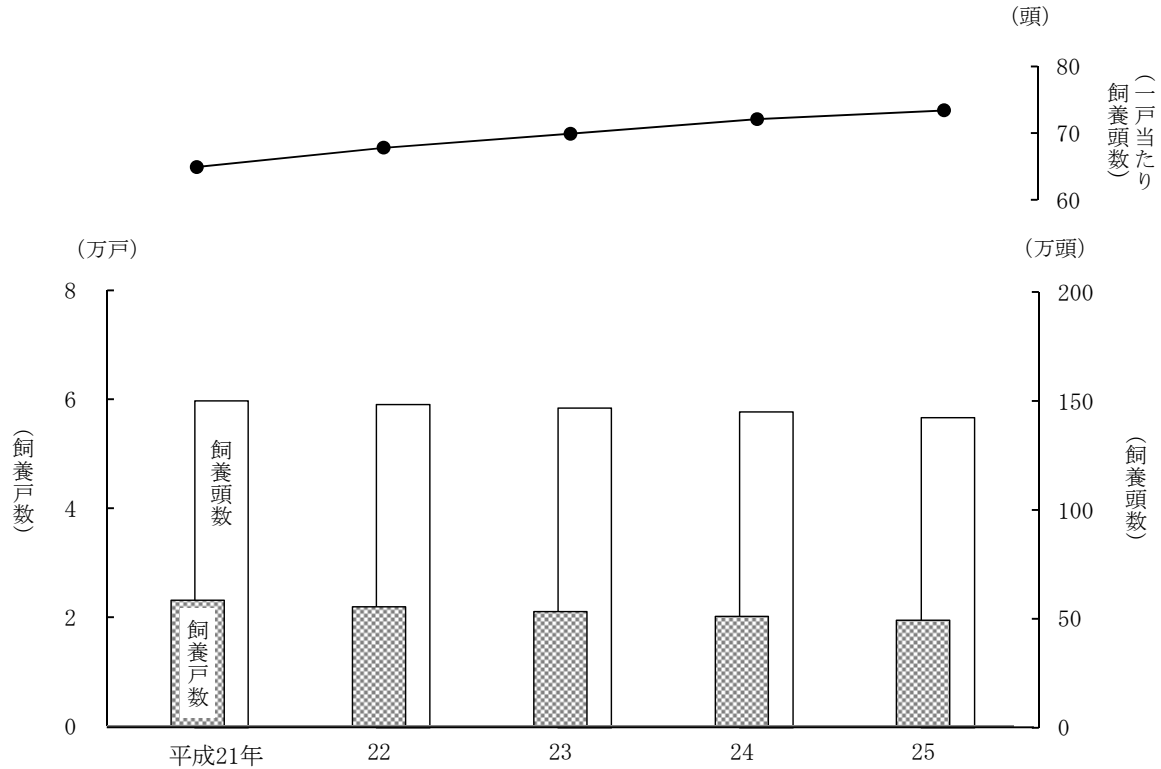


表12 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

区分	単位	平成21年	22	23	24	25 (概数)
飼養戸数	戸	23,100	21,900	21,000	20,100	19,400
飼養頭数	頭	1,500,000	1,484,000	1,467,000	1,449,000	1,423,000
うち搾乳牛	頭	848,000	829,700	804,700	812,700	798,300
1戸当たり飼養頭数	頭	64.9	67.8	69.9	72.1	73.4